

2013.5.24

[所感]

長崎市議会議員 毎熊 政直

NPT 再検討会議第 1 回準備委員会参加及び
市民友好訪問に参加報告について

4月15日午前10時30分、福岡国際空港から12時間かけて、オランダ・アムステルダム・スキポール空港に着き、それから1時間かけてドイツ・フランクフルト国際空港に到着。時差ぼけの中ホテルで1泊後、4月16日ヴュルツブルグ市を市民友好都市提携の調印のため訪問しました。シーボルト博物館を視察するとともに、ウド・バイライス理事長をはじめとする、シーボルト協会の会員の皆様から心からなるもてなしを受け、感銘を受けた次第でした。

翌17日は朝9時から12時にかけてバイライス理事長のご案内のもとシーボルトゆかりの地を3時間かけて歩き回りました。バイライス理事長の巨体にあわぬ元気さに驚きながら説明を受けて視察し、ゲオルク・ローゼンタール・ヴュルツブルグ市長を表敬訪問し、午後2時からヴュルツブルグ市役所において、市民友好都市提携の調印式に参加しました。中根駐ドイツ日本国大使と、交換留学生として派遣されている長崎大学医学部生のみなさんと、ヴュルツブルグ市民の方も立会いただくなかで調印式が行われました。シーボルトがつないだ両市の歴史的時間に立会うことが出来たことに喜びを感じたところです。そして夜は、ビール工場で心温まるおもてなしを受け、通訳の方を通じていろいろと会話をかわし交流を深めてまいりましたが、明るさという国民性の違いに驚いたところです。

4月18日午後から20日にかけてモナコ公国を訪問しました。まさに、その風景の美しさと巨大なテーマパークを思わせる町並みには驚いたしだいです。人口3万6千人の国に年間700万人もの観光客がおとずれるわけだとの思いでした。また、町のいたるところまで美化がいきとどき、屋上緑化も義務付けられていて環境にも大変な配慮をされている都市で、治安の良さも説明を受け、改めてモナコ公国の歴史を訪ねたところでした。18日には国務大臣と歓談を行い、19日にはモナコ市役所を訪問し助役等と面談しました。

その後、ローズ・モナコ観光大臣から、モナコ観光のプレゼンテーションを受け、意見交換ではコンベンション誘致やゴミ処理、上下水道の設備配置、駐車場の保有台数等をおたずねしました。

そのような意見のやりとりの中で、モナコサイドから提案があり長崎とモナコと共に、世界新三大夜景に認定されたことを記念して、長崎市に「名誉証明書」が交付されることになりました。

昼食時も多くのモナコ公国の要人から、大変な歓迎を受け通訳を通して多くの話をうかがわせていただき、おおいに勉強になりました。

午後からは、クラヴェラン都市計画省局長からプレゼンテーションがあり、港湾整備等について意見交換を行いました。

引き続き、ブズ・ピースアンドスポーツ事務局長より、モナコのスポーツを通じた平和観光活動の紹介を受けました。ご本人がオリンピックの金メダリストであったというところから、スポーツを通して多くの観光客に来ていただく活動を紹介していただきました。

夜はモナコ訪問の目的であった夜景を鑑賞させていただきました。昼間の景観があまりに美しいため、夜景にそこまで感激は持ちませんでした。他との夜景を比較したならばそれは素晴らしいものだなと思いました。

ただ、大変驚いたのは国民性の違いか、大変な歓待を受けたのですが、その食事時間の長さには驚かされました。8時から11時過ぎまで色々なおしゃべりをしながらの、その時間の長さには驚かされました。また、食生活の日本との違いもおおいに感じたところです。また、モナコに限らずヨーロッパ諸国ではと思いますが、宗教と生活が一体的に行われているような感触を受けました。その中で、教会の素晴らしさに心を打たれたところです。また歴史も宗教と共に作られたように学びとらせていただいたところです。そして、モナコの人たちのもてなしの心の熱さに感激をし。共鳴したところでもあります。世界新三大夜景を機に、日本の長崎市という都市の知名度がますます上がり、両都市の交流が今後さらに発展して魅力的な観光都市になっていくように、意見交流がさらに進んでいくように願いたいと思います。

22日から24日までジュネーブを訪問しました。2015年NPT再検討会議第2回準備委員会を傍聴しました。まず、国連欧州本部へ入館するためのチェックに2時間近く費やした。また、この国際会議の10時開会予定が1時間遅れたことには驚かされました。

始めて国際社会の中での平和活動の様子を知って、本当にいい体験になりました。また、ナガサキ・ユース代表団の核兵器廃絶の活動事業を見聞させていただき感銘を受けたところです。しかし、関係者の話を聞きますと、常設展にはあまりむごい物や宗教的なものは展示できないということで、少しインパクトのなさを感じたところです。

今回スイスを訪問するまでは、イメージとして美しくて住みやすい国だと思っておりましたが、歩道にはゴミや吸い殻がたくさん捨てられており。また、路地裏はスリや置き引きが多いとの注意を受け、日本の公衆道徳の高さを改めて感じました。現地の日本人の方々との交流では、スイス国民の生活格差の大きさを教えていただきましたが、反面、街のいたる所で子どもたちの遊びまわる姿を見かけて、改めて日本の少子化を痛感いたしました。また、ホテルのサービスは日本のホテルの方がいかに高水準か感じとったところです。

今回初めてヨーロッパの国々を視察させていただきましたが、各国の方々のもてなしの心は大変感じさせてもらいました。反面、日本という国の良さも思い知らされました。そして、外国の方に訪れていただいた時、その方の国の字や言葉がたくさんあることが、いかに助かるかとの思いも大きく感じました。日本の観光にも生かしてほしいと思います。